



東京アマデウス合唱団
第38回定期演奏会

TELEMANN
UND
BUXTEHUDE

2019年10月6日(日) 同仁キリスト教会礼拝堂

Tokyo Amadeus Chorus



ご挨拶

本日はお忙しい中をご来場賜り、厚くお礼申し上げます。

この合唱団も今年で40年目を迎え、水野先生のご指導を頂いてからでも20年目になりました。

人数も少なくなり演奏曲もモーツァルトからバロックへと変化してまいりましたが、指揮者の水野先生と共に海保先生のSymphonia Fons Harmoniaeの方々から毎回変わらぬ伴奏のご協力を頂き、何とか本日まで存続して参りました。毎回この演奏会にご来場頂く皆様のお陰と共に団員一同改めて感謝致している次第です。

今宵もこの響きの良い同仁キリスト教会の礼拝堂で、皆様になんとか心地良い響きをお届けすることが出来ますようにと願っております。

今後ともご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

東京アマデウス合唱団 団長 柿沼 哲



PROGRAM

Georg Philipp Telemann(1681-1767)

ゲオルク・フィリップ・テーレマン

SATB

Missa brevis in C TVWV9:15
ミサ・ブレヴィス ハ長調

Vn1,Vn2,Continuo

Der Herr ist König TVWV8:6
主は王である

Continuo

Der Gott unsers Herrn Jesu Christi TVWV8:4
私たちの主なるイエス・キリストの神

Continuo

Ein feste Burg ist unser Gott TVWV8:7
我らの神は揺るがぬ城

Continuo

～ 休 憩 ～

Dieterich Buxtehude(um1637-1707)

ディーテリヒ・ブクステフーデ

Vn1,Vn2,Violone,Continuo

Befiehl dem Engel, dass er komm BuxWV10
御使いに命じてください、来るようにと

SATB

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes BuxWV77
何物も神の愛から私達を引き離さない

SABar

Der Herr ist mit mir BuxWV15
主が共におられるので

SATB

Was frag ich nach der Welt BuxWV104
私は世に何を求めることがあろうか

SAB

(選曲 辻村順子)

PROFILE



指揮 水野 克彦

東京藝術大学卒業。クラリネット専攻。在学中は藝大バッハ・カンタータ・クラブに在籍し、小林道夫氏の薫陶のもとにバッハの教会音楽作品を研究した。卒業後はクラリネット奏者としてオーケストラ、室内楽等の演奏にたずさわったが、しだいに十代の頃から親しんできた合唱音楽や教会音楽へ傾倒するようになり、ピアノ伴奏者および通奏低音奏者としてこの分野に参加することが多くなった。現在は指揮者としてアマチュア合唱団の指導に力を注ぎ、オルガン演奏もライフワークとして取り組んでいる。日本オルガニスト協会会員。日本オルガン研究会会員。茗荷谷キリスト教会オルガニスト。

Symphonia Fons Harmoniae



ヴァイオリンⅠ 海保 あけみ

東京藝術大学卒業。ヴァイオリンを正岡紘子、山岡耕筈、日高毅の各氏に、室内楽を黒沼俊夫氏に師事。又、藝大バッハカンタータクラブにて小林道夫氏の指導を受ける。現在フリーの演奏家として、室内楽・オーケストラ等の演奏を中心に活動中。



ヴァイオリンⅡ 片桐 恵里

東京藝術大学卒業。同大学院修了。埼玉県新人演奏会に出演。ヴァイオリンを掛谷洋三、浦川宜也、室内楽をピュイグ・ロジェ、レイ・グラーラーの各氏に師事。室内楽を中心に活動している。



チェロ 伊藤 恵以子

東京藝術大学、同大学院博士課程修了。チェロを三木敬之、レーヌ・フラショー、倉田澄子の各氏に師事。日本音楽コンクール入選。パリ・エコールノルマルで学ぶ。在学中バッハカンタータクラブに所属し、小林道夫氏の指導の下で数多くの宗教曲に触れる。

現在ピアノ四重奏Ensemble Deliceや、デュオPiacevole等の室内楽、モダンとバロック楽器での合唱の伴奏等様々な演奏活動を行っている。



ヴィオローネ(コントラバス) 栗田 涼子

東京藝術大学音楽学部卒業。同大学院修士課程修了。コントラバスを永島義男、黒木岩寿の各氏に師事。2007年、ミュージックマスターズコースinかずさに参加。

バッハ協会管弦楽団の公演に出演するなど、フリーの演奏家として活動中。



オルガン 平野 智美

東京藝術大学卒業、同大学院音楽研究科修了。文化庁特別派遣芸術家在外研究員として、イギリスにて研鑽を積む。

チェンバロを鈴木雅明、N・パール、オルガンは今井奈緒子の各氏に師事。第13回国際古楽コンクール<山梨>チェンバロ部門・最高位受賞。現在、国立音楽大学および千葉経済大学短期大学部講師。

PROGRAM NOTE

辻村 順子

今年はドイツ・バロックを代表する二人の作曲家、テーレマンとブクステフーデを
取り上げました。

ゲオルク・フィーリップ・テーレマン Georg Philipp Telemann (1681-1767)

バロック後期を代表する作曲家。マクデブルクで生まれ、ライプツィヒ、ゾーラウ、アイゼナハ、フランクフルト・アム・マインを経て、ハンブルクで没する。カンタータやモテット、オラトリオ、受難曲等の声楽曲の他に器楽曲等、膨大な数の作品を残している。

Missa brevis in C TVWV9:15 ミサ・ブレヴィス 八長調

4つの声楽パート(ソプラノ、アルト、テノール、バス)と2本のヴァイオリン、コンティヌオによるキリエとグロリアのみの小ミサ曲。ライプツィヒの学生時代(1701-1705)の作品。

Der Herr ist König TVWV8:6 主は王である

4声の合唱(ソプラノ、アルト、テノール、バス)とコンティヌオによるモテット。
テキストは詩編97-1に基づく。

Der Gott unsers Herrn Jesu Christi TVWV8:4 私たちの主なるイエス・キリストの神

4声の合唱(ソプラノ、アルト、テノール、バス)とコンティヌオによる聖霊降臨祭前夜のためのモテット。
テキストは新約聖書「エフェソの信徒への手紙」1、17-18に基づく。

Ein feste Burg ist unser Gott TVWV8:7 我らの神は揺るがぬ城

4声の合唱(ソプラノ、アルト、テノール、バス)とコンティヌオによるコラールモテット。
テーレマンは1721年にハンブルク市の音楽監督に就任し、終生その地位に留まるが、この曲はその時代の作品である。マルティン・ルターが作詞作曲した有名なコラールに基づく。
Strophe1はソプラノ、Strophe2はバスがCantus firmusを歌い、最後は4声コラールで締めくくられる。
「Gottes Wort und Christi Lehr vergehet nun und nimmermehr 神の言葉とキリストの教えは断じて滅びない。」という自由詩が何度も繰り返される。

ディーテリヒ・ブクステフーデ

Dieterich Buxtehude (um1637-1707)

オルデスローまたはヘルシングボリで生まれ、リュウベックで没する。最初はオルガニストであった父のもとで音楽教育を受け、ヘルシングボリ、ヘルセンゲアの教会でオルガニストを務めた後、1668年以降はリュウベックの聖マリア教会で、亡くなるまでの40年近くオルガニストを務める。オルガン曲、宗教的声楽曲を多く書いている。

Befiehl dem Engel, dass er komm BuxWV10 御使いに命じてください、来るようにと

4声の合唱(ソプラノ、アルト、テノール、バス)と2本のヴァイオリン、ヴィオローネ、コンティヌオによる大天使ミカエルの祝日のためのコラールカンタータ。

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes BuxWV77 何物も神の愛から私達を引き離さない

3声の声楽パート(ソプラノ、アルト、バリトン)と2本のヴァイオリン、ヴィオローネ、コンティヌオによるカンタータ。

テキストは新約聖書「ローマの信徒への手紙」8:38-39に基づく。

Der Herr ist mit mir BuxWV15 主が共におられるので

4声の合唱(ソプラノ、アルト、テノール、バス)と2本のヴァイオリン、ヴィオローネ、コンティヌオによるカンタータ。

テキストは詩編118、6-7に基づく。

最後のAlleluiaの部分はシャコンヌの形式で、コンティヌオ・オスティナートが19回繰り返される。

Was frag ich nach der Welt BuxWV104 私は世に何を求めることがあろうか

3声の声楽パート(ソプラノ、アルト、バス)と2本のヴァイオリン、ヴィオローネ、コンティヌオによるカンタータ。

テキストはバルタザール・キンダーマンBalthasar Kindermann(1664)による。

歌 詞 対 訳

水野 克彦

ゲオルク・フィーリップ・テーレマン Georg Philipp Telemann

Missa brevis in C TVWV 9:15

ミサ・ブレヴィス 八長調 テーレマン声楽作品目録9:15

1.

Kyrie eleison.

Christe eleison.

Kyrie eleison.

2.

Gloria in excelsis Deo.

Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.

Laudamus te.

Benedicimus te.

Adoramus te.

Glorificamus te.

Gratias agimus tibi

propter magnam gloriam tuam.

Domine Deus, Rex coelestis,

Deus Pater omnipotens.

Domine, Fili unigenite Jesu Christe.

Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.

Qui tollis peccata mundi,

miserere nobis.

Qui tollis peccata mundi,

suscipe deprecationem nostram.

Qui sedes ad dexteram Dei Patris,

miserere nobis.

1.

主よ、憐れみたまえ。

キリストよ、憐れみたまえ。

主よ、憐れみたまえ。

2.

天のいとも高きところでは神に栄光。

地では善意の人々に平和。

わたくしどもはあなたを誉めます。

わたくしどもはあなたを讃美します。

わたくしどもはあなたを礼拝します。

わたくしどもはあなたを崇めます。

わたくしどもはあなたへ感謝をあらわします、

あなたの大いなる栄光のゆえに。

神なる主にして天の王、

全能の御父なる神よ。

主にして、神の一人子イエス・キリストよ。

神なる主よ、神の小羊、御父の御子。

世の罪を取り除かれるお方、

わたくしどもを憐れみたまえ。

世の罪を取り除かれるお方、

わたくしどもの哀願を受けとめたまえ。

御父なる神の右に座られるお方、

わたくしどもを憐れみたまえ。

Quoniam tu solus Sanctus.

Tu solus Dominus.

Tu solus Altissimus,

Jesu Christe.

あなたは唯一の聖なるお方であられますから。

あなたは唯一の主であられますから。

あなたは唯一の至高なるお方であられますから、

イエス・キリストよ。

Cum Sancto Spiritu, in gloria Dei Patris.

Amen.

聖霊と共に、御父なる神の栄光のうちに。

アーメン。

Der Herr ist König TVWV 8:6

主は王である テーレマン声楽作品目録8:6

Der Herr ist König;

des freue sich das Erdreich

und sei'n fröhlich die Inseln, soviel ihrer sind.

主は王である。

大地は主なる王を喜びなさい、

そして存在するありったけの島々も楽しみなさい。

Der Gott unsers Herrn Jesu Christi TVWV 8:4

私たちの主なるイエス・キリストの神 テーレマン声楽作品目録8:4

Der Gott unsers Herrn Jesu Christi,

der Vater der Herrlichkeit, gebe euch

den Geist der Weisheit und der Offenbarung

zu seiner selbst Erkenntnis

und erleuchtete Augen eures Verständnis,

dass ihr erkennen möget,

welche da sei die Hoffnung eures Berufs,

und welches sei der Reichtum

seines herrlichen Erbes an seinen Heiligen.

私たちの主なるイエス・キリストの神にして、

栄光の御父が、あなた方に

英知と啓示の霊を与えてくださいますように。

それはあなた方が神を認識するためです。

そしてあなた方が理解するための眼を明るく照らして、

このような認識ができるようにしてくださいますように。

すなわち、そのときあなた方の召命がどのような希望となるか、

そしてあなた方がどのような富を神の栄光に満ちた

相続財産として、敬虔な信者ゆえに受け継ぐのかを。

(エフェソの信徒への手紙1:17-18)

Ein feste Burg ist unser Gott TWV 8:7
我らの神は揺るがぬ城 テーレマン声楽作品目録8:7

Strophe 1

Ein feste Burg ist unser Gott,
ein gute Wehr und Waffen.
Er hilft uns frei aus aller Not,
die uns jetzt hat betroffen.
Der alte böse Feind,
mit Ernst er's jetzt meint;
groß Macht und viel List
sein grausam Rüstung ist,
auf Erd' ist nicht seingleichen.

Strophe 2

Mit unsrer Macht ist nichts getan.
~Gottes Wort und Christi Lehr
vergehet nun und nimmermehr.~
Wir sind gar bald verloren;
es streit' für uns der rechte Mann,
~Gottes Wort und Christi Lehr
vergehet nun und nimmermehr.~
den Gott hat selbst erkoren.
~Gottes Wort und Christi Lehr
vergehet nun und nimmermehr.~
Fragst du, wer der ist?
~Gottes Wort und Christi Lehr
vergehet nun und nimmermehr.~
Er heißt Jesus Christ,
der Herre Zebaoth,
und ist kein andrer Gott;
~Gottes Wort und Christi Lehr
vergehet nun und nimmermehr.~
das Feld muß er behalten.

第1節

我らの神は揺るがぬ城、
すぐれた防壁であり武器である。
神は我々をあらゆる窮地から救い出し、
今、遭遇している苦境から解放して下さる。
年老いた悪魔、
其奴は今、大真面目に考えているのだ。
強大な力と多くの策略が
我が残忍な武器である、
自分の右に並ぶ者などこの世にいないであろうと。

第2節

我々の力では何もできない。
~神の言葉とキリストの教えは
断じて滅びません~
それどころか我々はほとんど無に等しい。
しかし我々のために義人が闘って下さる。
~神の言葉とキリストの教えは
断じて滅びません~
神みずからがそのお方を選んでくださったのだ。
~神の言葉とキリストの教えは
断じて滅びません~
その義人は誰かと、あなたは問うのか。
~神の言葉とキリストの教えは
断じて滅びません~
そのお方はイエス・キリスト、
万軍の主であり、
他に神はない。
~神の言葉とキリストの教えは
断じて滅びません~
彼は戦場を守り抜いて下さるに違いない。

第3節は作曲されていない

Strophe 4

Das Wort sie sollen lassen stahn
und kein' Dank dazu haben.
Er ist bei uns wohl auf dem Plan
mit seinem Geist und Gaben.
Nehmen sie den Leib,
Gut, Ehr, Kind und Weib,
laß fahren dahin!
Sie haben's kein Gewinn;
das Reich muß uns doch bleiben.

第4節

彼らは御言葉を無視するがよかろう、
御言葉にはまったく感謝しないがよかろう。
神は快く我々の傍らにいてくださり、
その御霊と賜物を伴ってくださる。
たとえ彼らが肉体を、
財産を、名誉を、そして子供と妻を奪おうとしても、
その時まで放っておけ。
彼らはなんの利益も得られないからだ。
そして我々には御国が残るに違いないではないか。



ゲオルク・フィーリップ・テレマン



ディーテリヒ・ブクステフーデ
Dieterich Buxtehude

Befiehl dem Engel, dass er komm BuxWV10

御使いに命じてください、来るようにと。 ブクステフーデ作品目録10

(大天使ミカエルの祝日用カンタータ)

Befiehl dem Engel, daß er komm,
und uns bewach, dein Eigentum,
gib uns die lieben Wächter zu,
daß wir vorm Satan haben Ruh.
So schlafen wir im Namen dein,
dieweil die Engel bei uns sein.
Du heilige Dreifaltigkeit,
wir loben dich in Ewigkeit.
Amen.

御使いに命じてください、来るようにと。
そしてあなたの所有物である私たちを見守るようにと。
私たちに心のこもった見張り役を付けて、
私たちがサタンを前にしても平安であるようにしてください。
そうして私たちは御名によって眠りに就きます、
御使いが私たちのそばにいてくださるのですから。
聖なる三位一体であるあなたよ、
とこしえに私たちはあなたをほめたたえます。
アーメン。

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes BuxWV77

何物も神の愛から私達を引き離さない ブクステフーデ作品目録77

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes.

何物も神の愛から私達を引き離さない

Wie sollte wohl heißen das zeitliche Leiden
das Gottes Geliebte von Gott könnte scheiden?
Wie sollte die Trübsal doch werden genannt,
die solche kann reißen aus göttlicher Hand?
Ach, wahrlich nicht Angst, nicht Verfolgung und
Not, nicht Hunger, nicht Blöße, Gefahr oder Tod.

この世の苦しみにどんな意味があると言うのか、それが
神に愛される人々を神から引き離すことができるとしても。
その苦しみをどう命名するつもりか、それが神に愛される
人々を神の御手から引きちぎることができるとしても。
ああ、まことに恐れでも、迫害や苦しみでも、飢えでも、
裸でも、危難あるいは死でもないであろう。

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes.

何物も神の愛から私達を引き離さない

Auch ist kein erschaffnes Vermögen zu nennen,
das Gottes Geliebte von Gott sollte trennen.

また命名されている被造物の力のうちで、神に愛される
人々を神から遠ざける、そのような力は一つもない。

Hier gilt weder Engel noch Menschengestalt,
nicht Fürstentum, Leben, noch Todes Gewalt,
was ist oder künftig soll werden gebracht
nicht Hohes, nicht Tiefes, noch einige Macht.

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes.

Denn Gott hat die Liebe so hoch ja getrieben,
daß er sich mit eigenem Blute verschrieben
in seinem geliebten und einzigen Sohn,
der mit ihm beherrscht den himmlischen Thron;
drum ist es vergeblich, was immer geschieht:
die göttliche Liebe verändert sich nicht.

Nichts soll uns scheiden von der Liebe Gottes.

ここでは天使であろうと人間であろうと問題ではなく、
王者、生命であろうと、死の支配であろうと問題ではなく、
今も将来も、もたらされるべきは、高いところのものでも
低いところのものでもなく、幾ばくかの力でもない。

何物も神の愛から私達を引き離さない

(ローマ8:38 - 39)

なぜならば、神はかくも尊い愛を駆り立てて、
みずからの血をもってご自身をささげてくださいました。
それをご自分が愛するひとり子においてなされたのだ。
そのひとり子は神とともに天の玉座を占めておられる。
それゆえ何を積み上げて反証しようと無駄なことだ。
神の愛は変わらない。

何物も神の愛から私達を引き離さない

Der Herr ist mit mir BuxWV15 **主が共におられるので ブクステフーデ作品目録15**

Der Herr ist mit mir,
darum fürchte ich mich nicht.
Was können mir Menschen tun?
Der Herr ist mir, mir zu helfen,
und ich will meine Lust sehen an meinen Feinden.
Alleluia.

主が共におられるので、
私は恐ろしくない。
人は私に何をすることができようか。
主は私を助けるために、共にいてくださる。
だから私は意欲を持って自分の敵どもに向かうのだ。
アレルヤ。

(詩編118:6-7)

Was frag ich nach der Welt BuxWV104

私は世に何を求めることがあろうか ブクステフーデ作品目録104

1.

Was frag ich nach der Welt und allen ihren Schätzen,
wenn ich mich nur an dir, Herr Jesu, kann ergötzen!
Dich hab ich einzig mir zur Freude fürgestellt;
du du bist meine Ruh; was frag ich nach der Welt!

2.

Die Welt ist wie ein Rauch, der in der Luft vergehet,
und einem Schatten gleich, der kurze Zeit bestehet.
Mein Jesus aber bleibt; wenn alles bricht und fällt,
er ist mein starker Fels: Was frag ich nach der Welt!

3.

Die Welt sucht Ehr und Ruhm bei hoch erhabnen Leuten
und denkt nicht einmal drauf, wie bald doch diese gleiten.
Das aber, was allein mein Herz für rühmlich hält,
ist Jesus nur allein: Was frag ich nach der Welt!

4.

Die Welt sucht Ehr und Gut und kann nicht eher rasten,
sie habe denn zuvor den Mammon in dem Kasten.
Ich weiß ein besser Gut; wonach mein Herze stellt,
ist Jesus nur, mein Schatz: Was frag ich nach der Welt!

1.

私は世とそのすべての財宝に何を求めることがあろうか、
ただあなたのみを、主イエスよ、喜ぶことができるならば。
私はひとえにあなたを、喜びとして思い浮かべました。
あなた、あなたは私の憩い。私は世に何を求めることがあろうか。

2.

世は煙のようだ、それは空中に消えてしまう。
そして世は影のようだ、短時間しか持たない。
しかし私のイエスは、すべてが壊れて倒れる時にも変わらず、
イエスは私の強い岩である。私は世に何を求めることがあろうか。

3.

世は誇りと名誉を高慢な人々のところに探し求めるが、
一度も考えないのだ。そんなものはどうせ、すぐに滑り落ちるということ。
しかし私の心が賞賛に値すると思うのは、
ただイエスだけ。私は世に何を求めることがあろうか。

4.

世は栄誉と財産を探し求めるが、むしろ休まらない。
そこでまずは筆筒の中に銭を溜め込んででもおれればいい。
しかし私はもっと良い財産を知っている。私の心が向かうのは
ただイエスだけ、私の宝よ。私は世に何を求めることがあろうか。

5.

Die Welt bekümmert sich, im Fall, sie wird verachtet,
als wenn man ihr mit List nach ihren Ehren trachtet.
Ich trage Christi Schmach, so lang es ihm gefällt.
Wenn mich mein Heiland ehrt, was frag ich nach der Welt!

6.

Die Welt kann ihre Lust nicht hoch genug erheben;
sie dürfte noch dafür wohl gar den Himmel geben.
Ein ander hält mit ihr, der von sich selbst nicht hält.
Ich liebe meinen Gott: Was frag ich nach der Welt!

7.

Was frag ich nach der Welt! Im Nu muß sie vergehen;
ihr Ansehn kann durchaus dem Tod nicht widerstehen.
Die Güter müssen fort, und alle Lust verfällt.
Bleibt Jesus nur bei mir, was frag ich nach der Welt!
Alleluja.

5.

世は心配するのだ。そのような場合に、自分が見下されるのを。
あたかも策略で世の榮譽がねらわれるかのようにだ。
私はキリストの辱しめを負おう、彼が永く快く思ったださる限り。
私の救い主が私の誇りならば、私は世に何を求めることがあろうか。

6.

世はその欲望をとては満足できない。
世はいつか恐らく、欲望の代償に本当に天国を売り渡すであろう。
また欲望のうちに留まる者もいるが、その者はみずからを尊重しない。
私は私の神を愛する。私は世に何を求めることがあろうか。

7.

私は世に何を求めることがあろうか。世は即座に消えるにちがいない。
世の名声はまったく死に抵抗できない。
財産は取り去られ、すべての欲望は衰える。
イエスが私の傍らにおられる限り、私は世に何を求めることがあろうか。
アレルヤ。
(バルタザール・キンダーマン「誠実な人々の本 1664年」より)



ブクステフーデの肖像画 "家庭音楽のひとこま"

演奏会の記録

	開催年月	主な演奏曲目	指揮	会場
第1回	1981.02	モーツァルト(レクイエム<ジュスマイヤー版>)	寺村博司	石橋メモリアル
第2回	1981.11	ハンデル(メサイア)	渡辺央己	中央会館
第3回	1982.11	フォーレ(レクイエム)、ジョスカン・デ・プレ、シュツツ	鈴木 優	東京カテドラル
第4回	1983.09	モーツァルト(戴冠式ミサ)、ヴィクトリア	黒岩英臣	東京カテドラル
第5回	1984.09	モーツァルト(レクイエム<ジュスマイヤー版>)	黒岩英臣	東京カテドラル
第6回	1985.10	J.S.バッハ(カンタータ106)、ブクステフーデ、ハスラー	宮本昭嘉	石橋メモリアル
第7回	1986.10	モーツァルト(グローセミサ)、ヴィクトリア	鈴木 優	練馬文化センター
第8回	1987.10	シュツツ(ムジカリッシェ・エクゼクイエン)、ハスラー(ミサ・セクンダ)	鈴木 優	石橋メモリアル
第9回	1988.12	モーツァルト(ヴェスペレ339)、J.ハイドン	齋藤明生	駒場エミナース
第10回	1989.11	モーツァルト(レクイエム<バイヤー版>)	齋藤明生	練馬文化センター
春の小演奏会	1990.05	ジョスカン・デ・プレ(パンジェ・リングウ)、ハスラー	齋藤明生	石橋メモリアル
第11回	1991.02	モーツァルト(リタニア243)、J.M.ハイドン(ヴェスペレ)	齋藤明生	石橋メモリアル
第12回	1991.11	モーツァルト(ドミニクス・ミサ、サンクタ・マリア・マーテル・デイ)	齋藤明生	川口リリアホール
第13回	1992.11	シャルパンティエ(真夜中のミサ)、シュツツ、ブクステフーデ	齋藤明生	石橋メモリアル
第14回	1993.11	モーツァルト(ミサ・プレヴィス275)、アルブレヒツベルガー	齋藤明生	石橋メモリアル
15周年記念	1994.11	モーツァルト(レクイエム<ドルース版>)渋谷混声と合同	齋藤明生	新宿文化センター
第15回	1995.10	J.S.バッハ(カンタータ182)、ブクステフーデ	齋藤明生	石橋メモリアル
第16回	1996.11	モーツァルト(ヴェスペレ339)、アルブレヒツベルガー	齋藤明生	石橋メモリアル
第17回	1997.10	モーツァルト(ミサ・ソレムニス337、テデウム・ラウドムス)	齋藤明生	石橋メモリアル
第18回	1998.10	J.S.バッハ(カンタータ61・196)、D.スカルラッティ	齋藤明生	石橋メモリアル
第19回	1999.10	ラインベルガー(スタバト・マーテル)、J.M.ハイドン、ブルックナー	齋藤明生	石橋メモリアル
斎藤先生追悼	2000.07	ハスラー、メンデルスゾーン、ホミリウス	水野克彦	同仁キリスト教会
クリスマス	2000.12	四つのアヴェマリア(アルカデルト、ジョスカン・デ・プレ、ヴィクトリア、パレストリーナ)	水野克彦	旧上野演奏堂
第20回	2001.11	モーツァルト(トリニターティス・ミサ)、J.ハイドン	水野克彦	石橋メモリアル
第21回	2002.10	ドイツ・パロック(J.C.F.バッハ、シュツツ、ブクステフーデ)	水野克彦	所沢文化センター
第22回	2003.11	ラインベルガー(スタバト・マーテル)、アルブレヒツベルガー	水野克彦	ルーテル市谷センター
第23回	2004.10	D.スカルラッティ、パレストリーナ、モンテヴェルディ	水野克彦	カトリック麻布教会
第24回	2005.11	シュツツ、テレマン、ブクステフーデ(カンタータ)	水野克彦	カトリック麻布教会
第25回	2006.11	レヒナー(ヨハネ受難曲)、ゼレンカ(レスポンソリア)	水野克彦	カトリック麻布教会
第26回	2007.10	ブクステフーデ(カンタータ6曲)	水野克彦	カトリック麻布教会
第27回	2008.11	5人のヨーハン(J.S.バッハとその親戚4人)	水野克彦	カトリック麻布教会
第28回	2009.10	メンデルスゾーン、J.ハイドン(レスポンソリア)	水野克彦	カトリック麻布教会
第29回	2010.11	シュツツ、シャイン、シャイト、ブクステフーデ、ブルーンス	水野克彦	同仁キリスト教会
第30回	2011.10	歴代「トーマス・カントル」のバッハ以外の名曲集	水野克彦	日暮里サニーホール
第31回	2012.10	シュツツ、ブクステフーデ(メンブラ・イエズ・ノストリ)	水野克彦	同仁キリスト教会
第32回	2013.12	16~17世紀のクリスマスと新年の名曲	水野克彦	同仁キリスト教会
第33回	2014.11	シュツツ(ムジカリッシェ・エクゼクイエンほか)	水野克彦	同仁キリスト教会
第34回	2015.11	トーマスカントル(カルヴィジウス、シャイン、T.ミヒヤエル、J.S.バッハ)	水野克彦	同仁キリスト教会
第35回	2016.11	シュツツ、ブクステフーデ	水野克彦	同仁キリスト教会
第36回	2017.10	ドイツパロック(ローゼンミュラー・パッヘルバル・ブルーンス等)	水野克彦	同仁キリスト教会
第37回	2018.10	18世紀オーストリアの教会音楽(J.M.ハイドン・アルブレヒツベルガー・エベリン)	水野克彦	同仁キリスト教会
第38回	2019.10	テレマン、ブクステフーデ	水野克彦	同仁キリスト教会
第39回	2020.10	J.S.バッハの息子たち(予定)	水野克彦	同仁キリスト教会



2019年6月 ドイツ ライプツィヒ市内
(撮影:辻村 順子)





東京アマデウス合唱団のご案内

少人数に適したルネッサンスやバロック時代の宗教曲を積極的に取上げて、他の合唱団ではあまり歌うことの無い、隠れた名曲を歌っています。

今後の活動予定は下記の通りです。見学ご希望の方は下記をご参照ください。

(事務局 大久保ルミ子)

来年の演奏会「第39回定期演奏会」

日 時 2020年10月4日(日)

会 場 同仁キリスト教会礼拝堂

演奏曲目 J.S.バッハの息子たち(予定)

合唱団ホームページ <http://t-amadeus.music.coocan.jp>

見学ご希望の方へ

必ず、上記へメール又は下記へ電話でご連絡の上、お出で下さい

お問い合わせ先： 辻村順子(048-476-4056)

大久保ルミ子(03-3960-7714)

練習日 毎週水曜日 18時30分～21時00分

練習場所 同仁キリスト教会美登里幼稚園2F

指導者 水野克彦

会費 入会金 1千円 月額 5千円(学生半額)

この他に、楽譜代・定演参加費(例年4万円程度)
がかかります(家族割り・学割あり)

【練習場所への交通案内】 右図参照

- 地下鉄有楽町線護国寺駅6番出口を出て右手に講談社を見ながら直進。
大塚警察署の角を右折し、坂道を道沿いに上りきった左手にあり。徒歩6分
- JR目白駅から都バス「新宿西口行き」で目白台三丁目下車。徒歩3分

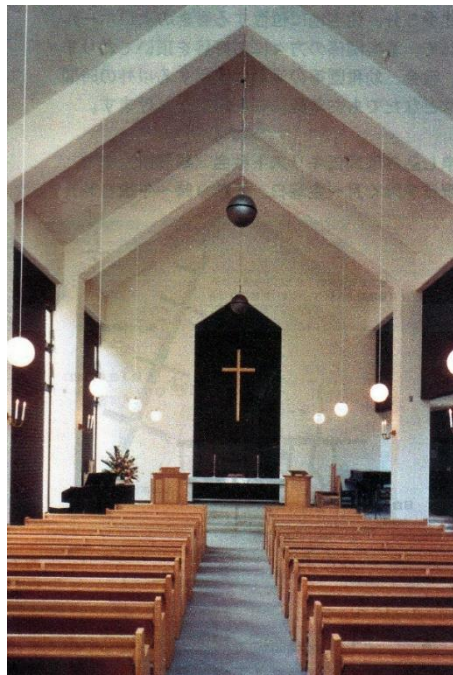


東京アマデウス合唱団

ソプラノ 辻村順子・中西亜紀子・平石幸枝
アルト 大久保ルミ子・大友美佐・大庭裕子
佐藤由紀子・濱野美保子・堀江和子
テノール 翁長良二・大庭敏彦・柿沼哲
バス 椎野隆志・中西宏年

2018年10月7日 第37回定期演奏会





Tokyo Amadeus Chorus

Since 1980